



第17回 国際文化交流会が行われました！

東海地方の梅雨明けは、21日に発表されましたが、その2日前は朝から雲行きも悪く、何かが起こりそうな予感がする、そんな朝でした。7月19日（土）東静岡駅そばのグランシップで「国際文化交流会」が開かれました。この会は、今年で17回目を数える大きな学校主催行事です。初めての開催は97年で、ことば学院初の大行事とあって、たしか、てんやわんやしながらも成功裏のうちに会を納めたことを覚えています。それ以降も毎年なにかしらのハプニングを伴いながら、この行事を継続してきました。

今回は静岡県立大生のダンスで幕を開けました。雨模様の空のことなど忘れさせてくれる華麗な踊りを披露してくれました。挨拶で理事長がマイクを持つときは、歌うのか、はたまた外国語のスピーチが始まるのか、毎回予測不能で、どきどきさせられますが、今年も例に漏れずやはりあっと驚かせるお話がありました。

今回は、ここ数年単調気味だった会のイメージを払拭すべく改良を試みました。1つめは、学習進度によるスピーチカテゴリーを取り払い、中級レベルから上級者まで一本化したことです。2つめは、豊かな媒体を通して発表する「プレゼンテーション」形式で自分の主張を訴えたり、アイデアを披露するカテゴリーの新設です。さらに、映像を通して表現する「ショートムービーコンテスト」も同時に開催しました。この企画には初級段階にいる1年生からの応募がありました。17回目にして初めて日本の歌の合唱以外にも1年生に発表の機会を与えられたこととなります。

「ことば」の学校として、文法や語彙表現を教え込むだけでなく、適切な「出力」の機会を設けること。そして、言いたいことがある人は誰でも参加できる。これは、この会を企画した当初の主旨であり、理想でした。また同時に、外国人ならではの意見、アイデアを聞きたいという静岡に住む好奇心旺盛な人々におすそわけできたらという思いで運営してきました。ご来場いただいた皆様も、今回はご来場いただけなかった皆様も、また来年同じ会場でお目にかかりましょう。（野田）



出場者の皆さん、よく頑張りましたね。



♪1年生による日本語の歌の合唱♪



応援隊の皆さんも盛り上げてくれました！



司会：B クラス ソンさん(ベトナム)、D2 クラス 李善英さん(韓国)

「ミャンマー人の名前」
アウントウ



金賞

「本末転倒」
安娜



国際ことば学院特別賞

「やりたいことが出来る幸せ」
ヌーウィンワーニユンティン



新宿日本語学校賞

「忘れかけていたもの」
スリヤティ



銀賞

スピーチコンテスト出場者

「人間にとっていちばん大切なもの」
ギシンクリシュナピクラム



「心の傷」
グエンティクインチャン



「環境」
シン ヤシュビル



「ハノイの汚染」
グエンカックフー



「歴史を意識すること」
ラトナヌルザナー



「私が介護を学びたい理由」
ドティテウニー



「出会いは別れの始まり」
アウントウヤーピョー



ことば奨学会賞

スーパープレゼンテーション

第17回国際文化交流会は例年と異なる新企画が盛りだくさんでした。企画の一つであるスーパープレゼンテーション部門では、2人の学生が大きなスクリーンを駆使し、堂々としたプレゼンテーションを行いました。



D2 クラス
金素英さん(韓国)
「日韓両国の文化比較」



E1 クラス
リシャントさん(インド)
「教育」

お楽しみ企画

① ヨガ

お楽しみ企画の一つ、ヨガの時間は、ネパールでヨガを教えていた学生によるレクチャーで、会場が一体となりヨガを行いました。日頃の疲れを癒す、リフレッシュの時間となりました。



ヨガ講師時代のタパリヤさん



会場の皆さんも一緒に！

ヨガ：M1 クラス タパリヤさん(ネパール) 通訳&アシスタント：D1 クラス グルンさん、カマラさん(ネパール)

② ショートムービーコンテスト

こちらにも新企画の一つで、学生達が制作した数分間のムービーを、会場で上映しました。今回は3つの作品がノミネートされました。学生のアイディアいっぱいの素敵な作品でした。



★最優秀作品賞★
Lクラス ハムザーさん
(インドネシア)
「がんばれ、負けるな」



F2 クラス アウン ヘインさん
(ミャンマー)
「安全第一」



Jクラス ティアさん
(インドネシア)
「海へ」



最優秀作品賞を受賞したハムザーさんの感想

作る時間が2日間と少なく、大変でしたが、受賞できて嬉しく思います。勉強など、全てのことに對して、「がんばれ、負けるな」というメッセージを伝えるために制作しました。ムービーを作ることが好きで、将来はメディア関係のことを勉強したいと思います。

7月生入学式・対面式



チャンコックフンさん



スピーチコンテストの中で7月生の紹介が行われ、新入生を代表してJクラスのチャンコックフンさん（ベトナム）が挨拶をしました。緊張しながらも、「日本に来て嬉しいです。日本にきて印象的だったのは日本人が親切だということです。学校の先生も分からないことがあるときは丁寧に指導してくれます。その優しさに応えられるように日本の大学に進学できるように頑張りたいです。」とこれからの留学生活の目標を語ってくれました。

また、スピーチコンテスト終了後、場所を移して新入生と4月生の対面式・懇親会が行われました。学生たちは、保証人さんやフレンドシップの方と対面し、食事をしながら習いたての日本語で会話を楽しんだり、別のクラスの学生

とも交流をして賑やかな会となりました。在校生のパンディサロジさん（ネパール）が「最初から日本語の勉強を頑張ってください。最初から頑張れば生活が楽になります。そしていろいろな経験をしましょう。楽しくすごしましょう。一緒に勉強しましょう。」と新入生にエールを送り、自分が来日した当初の話もしてくれました。

新入生たちは、自分の将来のために日本での一歩を踏み出しました。まだ、日本の生活で不慣れな部分もあると思いますが、目標や夢を忘れず、日本にきた留学生仲間と共に充実した留学生活になることを願っています。



パンディサロジさん



ステージで新入生の紹介



クラス皆でハイチーズ

編集後記

夏本番となりました。学生たちは8月2日から夏休みが始まります。旅行の計画を立てている学生や、長期休みを利用して国へ帰省する学生など夏休みが待ち遠しいようです。

来月号の地球通信はお休みです。9月号にて学生たちの夏休みの思い出やそのほかたくさんのお話を伝えたいと思います。（長島）

※日本語学校の事務所は8/10（日）から8/17（日）までお休みになります。



金賞受賞者のスピーチを紹介致します。

「ミャンマー人の名前」

E1クラス アウン トゥ (ミャンマー)

みなさんは私の名前をご存知ですか？ 私とおなじミャンマー人なら、私の名前を聞いたらすぐ、私が何曜日に生まれたか、わかります。そのうえ、私の人柄についてもだいたい分かります。どうしてだと思いますか？今日はミャンマー人の名前について、みなさんに紹介したいと思います。

皆さんの国ではどのように子供に名前を付けますか？日本では両親が気に入った音や漢字の意味から名前を付けることが多いようですね。私の国ミャンマーでは、昔からの習慣で、生まれた曜日によってつける名前がわかれています。名前に意味があるし、古くからミャンマーに伝わる名づけの書もあります。そして占い師がそれを使って占い、子供に名づけるのです。人々は、名前は将来を左右する、とても大切なもの信じているので、一番いい名前をもとめて、占い師のもとをおとずれます。

名前のおかげで人生がよくなる人もいれば、名前のせいで悪くなる人もいるのかもしれませんが。たとえば私には竹馬の友がいます。名前は“ソー トゥ”です。“ソー”は、悪い、“トゥ”は人、つまり“悪い人”という意味です。彼は大人になるにしたがって、だんだん悪くなり、今では家族の中で一番の問題児です。

結婚する時も名前や生まれた曜日は大切になってきます。昔、母が愛していた人は、父とは違う人でした。母は土曜日生まれ、その人は木曜日生まれ。ミャンマーでは土曜日生まれと木曜日生まれの人が結婚すれば、将来問題が起きると信じられています。名前を聞けば、二人の相性が悪いことはだれにでもわかります。それで祖父は結婚を許さなかったそうです。占いで合うと言われた父と結婚して、母は幸せになったんでしょうか？それは母に聞いてみないとわかりません…。

名前にしばられては不幸になるという人もいますが、私たちはこれをうまく使っています。日本でも「名は体を表す」と言うそうですね。たとえば新しくだれかと知り合った時、名前から相手の人柄を想像しながら気を付けて付き合いはじめることができます。でも、もちろん名前を決めつけるのはよくありません。人付き合いをスムーズに始めるのに役立つという意味です。

ああ、ごめんなさい、忘れていましたが、みなさん私の名前の意味を知りたいですか？私を見てどんな意味だと想像しましたか？「アウン」は成功、「トゥ」は人、そうです「成功できる人」という意味です。みなさんが私の成功を信じてくれるかはわかりませんが、名前は両親が心を込めて私におくってくれた初めてのプレゼントです。「アウントゥ」というこの名前、大切にしていきたいと思っています。

●金賞のアウン トゥさん



受賞者の声



アルバイトが忙しく練習の時間をとるのがすごく大変でした。受賞でき、ことばで言えないほどうれしく思います。みんなが聞いたことのない習慣について話したので受賞できたのだと思います。この調子で日本語を勉強し、卒業後は自動車の専門学校に入ろうと思っています。

●銀賞のスリヤディさん

私は日本に来たのが遅かったので、たくさん経験を積むためには学校のイベントに参加しなければなりません。学校には様々な国の学生達が日本語を学びに来ています。それぞれの学生は日本での目標を持っています。他の国の学生達と一緒に日本語を学ぶと色々なことを学ぶことができます。例えば勉強の仕方、考え方です。

学生達は、日本に来たばかりの時は一生懸命勉強をしますが、時間が経つとだんだん勉強の意思がなくなってしまいます。授業中寝てしまう学生やよく休んでいる学生もいます。日本に来るのは簡単ではなかったはずなのに、なんで日本の生活が変わってしまったのでしょうか。

私は日本に来るのが簡単ではなかったので日本の生活がどんなに大変でも負けません。他の学生もそうしてほしいと思います。私は外国人歌舞伎やスピーチのイベントに参加しました。最初は緊張して、難しくてできないと思っていましたが、もっと頑張ればだんだんできるようになりました。私は将来教師になりたいです。日本にいる間に体験・知識・経験のために自分のやりたいことをやります。

銀賞受賞者のスピーチを紹介致します。

「忘れかけていたもの」

Bクラス スリヤディ (インドネシア)

子どもの時、「日本」は私の夢でした。マンガ、文化、テクノロジーで日本に対する興味が強くなりました。そして高校生の時、自分の将来の目標になるような決定的な日本のドラマに出会いました。「ドラゴン桜」というドラマです。ドラマの主人公は高校の先生で、おバカでダメな学生たちを、日本で一番有名な大学に合格させるために奮闘します。私はその先生のようになろうと思い、日本に行くことが大きな目標になりました。

私は日本に留学する夢をかなえるために、仕事がどんなに忙しくても、毎日日本語を勉強しました。3年間、働きながら、毎月、毎月、貯金して、去年の10月、やっと来日しました。

日本での留學生活は勉強とアルバイトが中心です。私にとって一番大切なものはもちろん勉強なので、「アルバイトしながら、日本語の勉強をする」生活が始まりました。しかし、最近は、「日本語を勉強しながらアルバイトをする」という生活になってしまい、授業中寝てしまうことが何回かありました。そして今では、先生の話の聞きながら、座ったまま寝られるようになりました。

先生に、「スリヤディ、大丈夫？」と聞かれ、私は「大丈夫です！」と答えていましたが、先生は「大丈夫じゃないよ！ほらほら、お・き・な・さ・い！」と私を起こします。

ある日、コンビニのアルバイトをしている時、お客のおばあちゃんが、忘れかけていたものを思い出させてくれました。

私 : 次のお客様、こちらにどうぞ。いらっしやいませ。

おばあちゃん: お兄ちゃん、日本語が上手だね。どこの国？

私 : インドネシアです。

おばあちゃん: へえ～、インドネシア？なんで日本に来たんだね？

私 : 日本語を学ぶためです。もっと日本語がうまくなりたいんです。

おばあちゃん: へえ～、そうなの。えらいだね。日本語が早くうまくなりたいんだったら、日本人の恋人をつくればいいだよ。

私 : 僕もそう思います。でも難しいです。

おばあちゃん: そうかね。もしおばあちゃんがもう少し若ければ恋人になってあげるのにねえ。ほほほ、冗談よ。じゃあ、ありがとうね。

お兄ちゃん、日本に来た目的を忘れないで、ちゃんとやらないと日本に来た意味がないからね。頑張ってね。

私は「ハッ」としました。その時から、日本に来た目的を思い出し、そして今の自分の状況をずっと考えています。「こんなことを続けていたらだめだ。夢なんか叶いっこない！日本に来た意味がないじゃないか！」と。

私のほかにも、授業中、がまんできなくて寝てしまうクラスメートがいます。ほかの学生も、私と同じように、日本に来た目的を忘れかけているのかもしれませんが。幸い、私は、おばあちゃんのあの一言で、忘れかけていたものを思い出しました。

留学生がやらなければならないことは何でしょうか。アルバイトをどんなに頑張って、どんなにたくさん貯金しても、お金は使えばなくなってしまいます。でも学んだ知識は永遠に変わりません。皆さんはどう思いますか。

今、私はあのおばあちゃんに感謝しています。「おばあちゃん、私が日本に来た目的を思い出させてくれて、ありがとう。」